

新潟市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果のポイント・課題について

- 1 父親・母親の就労状況・意向（「就学前児童調査」「小学生調査」）・・・・・・・・・・ P2～3
- 2 定期的な教育・保育の利用状況（「就学前児童調査」）・・・・・・・・・・ P4～6
- 3 育児休業等の利用状況（「就学前児童調査」）・・・・・・・・・・ P7
- 4 悩み・不安の状況（「就学前児童調査」）・・・・・・・・・・ P8～10
- 5 幼保無償化の認知度と意向（「就学前児童調査」）・・・・・・・・・・ P11～13
- 6 放課後の居場所の状況（「小学生調査」）・・・・・・・・・・ P14
- 7 新潟市の子育て支援の状況（「就学前児童調査」）・・・・・・・・・・ P15～19

1 父親・母親の就労状況・意向（「就学前児童調査」「小学生調査」）

<本市の動向>

本市では、「就学前児童」に比べ「小学生」の母親のパート・アルバイト等での就労割合が高くなっています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」の回答では、「就学前児童」の母親 20.9%と比べて「小学生」の母親は 11.3%と少ないことから、「就学前児童」には潜在的な就労意向があり、子どもが小学生になるとパート・アルバイト等の就労に結びつくことが推測されます。

<調査対象による比較分析>

父親・母親の就労状況を「就学前児童」と「小学生」で比較すると、母親の「以前は就労していたが、現在は就労していない」が、「就学前児童」で 20.9%、「小学生」で 11.3%となっています。

また、「現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した人のうち、「就学前児童」の母親の 54.3%が「1年より先に就労したい」、27.6%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しており、潜在的な就労意向が高いことがわかります。

■ 問 15 お子さんの両親の就労の有無と産休（育休・介護休業含む）等の状況を伺います。

(単位: %)		フルタイムで就労しており、休業中ではない	フルタイムで就労しているが、休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労していない
就学前児童	母親	28.0	18.7	24.7	5.4	20.9	1.6
	父親	94.1	0.6	0.6	0.1	0.6	0.1
小学生	母親	41.1	1.0	42.5	1.5	11.3	1.6
	父親	92.6	0.2	0.5	0.1	0.5	0.0

※「無回答」は省略。

■ 問 15-C 就労したいという希望はありますか。

[設問とのクロス集計表](単位: %)	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1年より先に就労したい	就労の希望はない
就学前児童(就労していない母親)	27.6	54.3	13.2
小学生(就労していない母親)	36.6	33.9	24.6

※「無回答」は省略。

<平成 25 年調査との比較分析>

平成 25 年に実施した前回調査との比較では、母親の就労状況は「フルタイムで就労している」は 10.3 ポイント増加、「パート・アルバイト等で就労している」は-2.8 ポイント減少しており、**フルタイム就労者が増加**しています。

一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 6.6 ポイント減少しています。

■ 問 15 (就学前)

(単位:%)	平成 25 年	推移	平成 30 年
フルタイムで就労しており、休業中ではない	30.9	↓ 減	28.0
フルタイムで就労しているが、休業中である	5.5	↑ 増	18.7
パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	31.3	↓ 減	24.7
パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	1.6	↑ 増	5.4
以前は就労していたが、現在は就労していない	27.5	↓ 減	20.9
これまで就労していない	1.0	↑ 増	1.6
無回答	2.2	↓ 減	0.8
全体	100.0		100.0

パート・アルバイト等で就労している母親のうち、「現在の就労形態のままの就労を続けることを希望」する母親が増加している一方、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が増加しており、**パート・アルバイト等からフルタイムへの就労形態の変更ができていく傾向**にあります。

また、「仕事をやめて子育てや家事に専念したい」が 2.8 ポイント増加しています。

■ 問 15-B (就学前) パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望、またはフルタイムからパート・アルバイト等への転換希望はありますか。

(単位:%)	平成 25 年	推移	平成 30 年
転換希望があり、実現できる見込みがある	7.3	↑ 増	7.8
転換希望はあるが、実現できる見込みはない	25.5	↑ 増	27.5
現在の就労形態のままの就労を続けることを希望	50.2	↑ 増	54.2
仕事をやめて子育てや家事に専念したい	3.8	↑ 増	6.6
無回答	13.1	↓ 減	3.9
全体	100.0		100.0

2 定期的な教育・保育の利用状況（「就学前児童調査」）

<本市の動向>

本市では、平成 25 年度調査時と比べて、定期的な教育・保育を利用する割合が微減しています。利用の内訳をみると、「認可保育所」や「認定こども園」の割合が増加しています。

また、就労状況別に利用の内訳をみるとフルタイム、パート・アルバイト等で就労している保護者は「認可保育所」、または就労していない保護者は「幼稚園」の割合が高い傾向にあります。

<平成 25 年調査との比較分析>

平成 25 年度に実施した前回調査との比較では、全体的に増加し、特に「認定こども園」は 34.4 ポイント増加しています。ただし平成 25 年調査では無回答が 27.2%あり、それにより今回調査での増量につながっています。したがって、前回調査からの傾向を踏まえて量の見込み等を推計算出した場合、前回の無回答による影響が大きく反映されることが見込まれます。

その点、今回調査では無回答の割合が小さく、量の見込み算出に相当であり、今回調査で算出した結果に実績等で調整を図る方法が相当と考えられます。

■ 問 17-A（就学前） 年間を通じて定期的に利用している事業と現在の利用状況をお答えください。

	平成 25 年	推移	平成 30 年
幼稚園	13.9	↑ 増	23.9
幼稚園の預かり保育	2.5	↑ 増	9.6
認可保育所【保育園(認可保育園)】	54.2	↑ 増	65.6
認定子ども園	2.6	↑ 増	37.0
小規模保育施設	—	—	4.4
家庭的保育事業	0.0	↑ 増	1.8
事業所内保育施設	0.6	↑ 増	2.0
その他の認可外保育施設	0.5	↓ 減	0.4
ベビーシッター	0.1	↑ 増	1.7
ファミリー・サポート・センター	0.3	↑ 増	4.4
その他	1.3	↓ 減	0.4
無回答	27.2	↓ 減	7.8
全体	100.0		100.0

<就労状況・子どもの年齢による比較分析>

【問 17-A 年間を通じて定期的に利用している事業と現在の利用状況をお答えください。】を
就労状況別でみると、就労している母親では「認可保育所」、未就労の母親では「幼稚園」「認定こ
ども園」に回答が集中しています。

子どもの年齢別でみると、すべての年齢で「認可保育所」に回答が集中しています。

	(単位: %)	合計	幼稚園	幼稚園 の預かり 保育	認可保 育所	認定こ ども園	小規模 保育施 設	家庭的 保育事 業	事業所 内保育 施設	その他 の認可 外保育 施設
	全体	1339	9.6%	1.6%	64.7%	22.0%	1.3%	0.0%	1.9%	0.7%
母親の 就労の 有無と 休業の 状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	525	4.2%	1.7%	71.0%	20.6%	0.6%	0.0%	2.9%	1.3%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	123	4.9%	0.8%	78.9%	16.3%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	463	5.6%	1.9%	69.3%	21.4%	2.4%	0.0%	1.7%	0.2%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	54	1.9%	1.9%	68.5%	27.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	151	45.0%	0.7%	19.2%	29.8%	1.3%	0.0%	1.3%	0.7%
	これまで就労していない	11	36.4%	0.0%	18.2%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	年齢	0歳	71	7.0%	1.4%	64.8%	23.9%	2.8%	0.0%	1.4%
	1歳	132	1.5%	0.0%	67.4%	22.7%	1.5%	0.0%	5.3%	1.5%
	2歳	249	4.4%	2.8%	70.3%	22.1%	1.6%	0.0%	2.4%	0.8%
	3歳	299	5.0%	1.0%	69.9%	18.4%	1.3%	0.0%	3.3%	0.7%
	4歳	317	18.3%	2.2%	55.8%	25.9%	0.9%	0.0%	0.6%	0.6%
	5歳	246	14.6%	1.2%	63.8%	20.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%

	(単位: %)	合計	居宅訪問 型保育 (ベビーシ ッター等)	ファミリ ー・サポ ート・セ ンター	障がい児 通所支援 (児童発 達支援)	その他
	全体	1339	0.1%	0.4%	1.0%	0.4%
母親の 就労の 有無と 休業の 状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	525	0.4%	0.6%	0.8%	0.0%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	123	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	463	0.0%	0.2%	0.4%	0.2%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	54	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	151	0.0%	0.7%	4.0%	2.0%
	これまで就労していない	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	年齢	0歳	71	0.0%	0.0%	0.0%
	1歳	132	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%
	2歳	249	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%
	3歳	299	0.0%	0.3%	1.3%	0.7%
	4歳	317	0.0%	0.3%	1.6%	0.0%
	5歳	246	0.0%	0.8%	0.8%	0.4%

<就労状況・子どもの年齢による比較分析>

【問18 現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんが小学校入学までの間に、平日の教育・保育事業として定期的に利用したいと考える事業は何ですか。】を就労状況別でみると、母親の就労形態にかかわらず「認可保育所」、未就労の母親では「幼稚園」に回答が集中しています。子どもの年齢別でみると、すべての年齢で「認可保育所」に回答が集中しています。

量の見込みは調査結果としての「ニーズ」を計測するため、実際に利用が不可能な状況であったとしても、調査の回答結果として算定に加えていきます。そのため、問17-Aでの「実際の利用傾向を踏まえ、量の見込みを適切に補正していく必要があります。今回調査では、0歳児や認可保育所の回答率が高くなっており、当該事業について過大に量の見込みが算出されることが見込まれます。

	(単位: %)	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育事業	事業所内保育施設	その他の認可外保育施設
	全体	2016	23.9%	9.6%	65.6%	37.0%	4.4%	1.8%	2.0%	0.4%
母親の就労の有無と休業の状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	565	13.6%	7.4%	67.8%	30.3%	1.6%	0.2%	2.5%	0.5%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	376	18.9%	6.6%	83.5%	43.9%	8.0%	4.0%	3.5%	0.5%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	498	14.7%	5.8%	68.5%	30.1%	3.0%	0.8%	0.4%	0.2%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	108	18.5%	7.4%	77.8%	39.8%	3.7%	2.8%	1.9%	0.0%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	421	52.7%	20.2%	43.0%	46.8%	6.7%	2.9%	2.1%	0.7%
	これまで就労していない	32	53.1%	9.4%	37.5%	46.9%	6.3%	3.1%	0.0%	0.0%
年齢	0歳	472	30.9%	9.7%	77.1%	48.9%	10.6%	4.2%	4.0%	1.1%
	1歳	263	27.0%	12.2%	68.1%	44.1%	3.4%	1.5%	2.7%	0.0%
	2歳	329	25.8%	9.1%	64.1%	34.0%	3.0%	2.1%	1.5%	0.3%
	3歳	345	17.7%	6.4%	67.0%	31.0%	2.9%	1.2%	0.9%	0.6%
	4歳	321	20.9%	11.8%	52.3%	32.7%	1.6%	0.0%	0.9%	0.3%
	5歳	252	17.9%	8.3%	59.9%	25.4%	0.8%	0.4%	0.8%	0.0%

	(単位: %)	合計	居宅訪問型保育(ベビーシッター等)	ファミリー・サポート・センター	障がい児通所支援(児童発達支援)	その他
	全体	2016	1.7%	4.4%	0.9%	0.4%
母親の就労の有無と休業の状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	565	2.5%	4.8%	0.9%	0.5%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	376	2.4%	6.1%	0.3%	0.3%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	498	1.0%	3.6%	0.8%	0.6%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	108	0.9%	3.7%	0.0%	0.0%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	421	1.4%	4.0%	1.7%	0.2%
	これまで就労していない	32	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	0歳	472	2.5%	5.3%	0.0%	0.2%
	1歳	263	3.0%	5.3%	0.0%	0.8%
	2歳	329	2.1%	4.3%	1.2%	0.3%
	3歳	345	0.9%	4.3%	1.4%	0.3%
	4歳	321	1.2%	4.4%	2.2%	0.0%
	5歳	252	0.4%	2.4%	0.8%	0.4%

3 育児休業等の利用状況（「就学前児童調査」）

<本市の動向>

本市では、フルタイムで就労している母親のうち、育児休業取得後に職場復帰する割合は8割を超えています。

また、パート・アルバイト等で就労している母親のうち、約1割は育児休業中に離職しています。

<仕事と子育ての両立による比較分析>

【問37 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、職場に復帰しましたか。(母親)】を仕事と子育てを両立させる上で必要だと思うこと別で見ると、働いていなかった人は「職場に保育所などが併設されていること」「必要に応じて子どもを一時的に預けられる施設やサービスが充実していること」と回答しています。働いていない状況で保育や一時預かりのニーズが高いことについては、「一般的な意見」として回答を選択したか、あるいは上記を経験した末に退職し、のちに妊娠を迎えたかという状況が考えられます。

	(単位:%)	合計	働いていなかった	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中または終了後に離職した	取得していない	無回答
	全体	2016	33.8%	40.5%	13.4%	3.8%	6.5%	1.9%
仕事と子育てを両立させる上で必要だと思うこと	子育てしながら働くことについて配偶者や祖父母の理解・協力があること	1402	33.1%	41.5%	12.0%	4.6%	6.8%	1.9%
	子育てしながら働くことについて職場の人の理解・協力があること	1619	33.8%	40.6%	13.8%	3.8%	6.1%	1.9%
	残業がなく、早い時間に帰宅できること	877	32.6%	39.8%	15.5%	4.4%	5.5%	2.2%
	育児休業や子どもの看護休暇など、休暇制度が充実していて取得しやすいこと	862	33.4%	40.8%	14.0%	4.2%	5.8%	1.7%
	育児休業など、長期の休暇からの復帰がしやすいこと	280	26.4%	47.1%	15.0%	2.9%	6.4%	2.1%
	短時間勤務やフレックスタイム制の勤務など、勤務時間に融通がきくこと	648	33.6%	41.4%	13.6%	4.6%	4.9%	1.9%
	希望どおりの保育所などに子どもを預けられること	635	31.7%	39.5%	15.4%	4.3%	6.8%	2.4%
	職場に保育所などが併設されていること	119	44.5%	33.6%	11.8%	1.7%	4.2%	4.2%
	必要に応じて子どもを一時的に預けられる施設やサービスが充実していること	359	39.6%	39.3%	8.9%	3.1%	7.5%	1.7%
	その他	39	33.3%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%	5.1%

4 悩み・不安の状況（「就学前児童調査」）

<本市の動向>

本市では、年齢を問わず「子どもにかかるお金に関すること」「子どもの食事や栄養に関すること」についての悩みを抱えています。

相談先については、母親が休業中の場合、「かかりつけ医師や医療機関」「子育て支援センター」の利用が多くなっており、子どもの年齢が上がるについて「幼稚園や保育所などの先生」が増加していく傾向にあります。

欲しい情報については、「子育てに関する公的制度（保育園、手当など）の内容」「子どもや親が行ける遊び場情報」にニーズがあります。

<子どもの年齢による比較分析>

【問 13 子育ての中で、日ごろ悩んでいること、または気になること】を子どもの年齢別で見ると、0歳・2～5歳が「子どもにかかるお金に関すること」、1歳が「子どもの食事や栄養に関すること」に回答が集中しています。

生まれた直後には子どもの成長のために栄養や健康を心配し、子どもの成長が進むにつれて教育費を中心に経済的不安が増していきます。この傾向は、小学生調査においても強く引き継がれていきます。

	(単位: %)	合計	子どもの病気に 関すること	子どもの食事や 栄養に関する こと	子どもの発 達に関する こと	子どもの学 力に関する こと	子どもの塾 や習い事 に関する こと	子どもに かかるお 金に関する こと	子どもの 友だちづ きあいに 関すること	いじめ に関する こと
	全体	2016	29.7%	41.9%	37.7%	16.7%	24.4%	48.7%	25.4%	12.6%
年齢	0歳	472	36.9%	51.1%	42.4%	11.4%	16.9%	51.9%	18.2%	11.7%
	1歳	263	33.5%	51.7%	36.1%	13.7%	21.7%	49.0%	17.9%	10.6%
	2歳	329	29.8%	42.9%	36.2%	13.7%	23.4%	49.2%	20.1%	10.9%
	3歳	345	27.0%	40.6%	39.4%	18.8%	29.9%	44.9%	32.8%	13.0%
	4歳	321	22.7%	33.0%	36.4%	19.3%	27.4%	49.2%	30.5%	14.0%
	5歳	252	25.4%	27.8%	31.0%	25.4%	30.2%	44.8%	37.7%	16.3%

	(単位: %)	合計	子どもの ほめ方・ かり方が よくわか らない こと	子ども との接し 方に自 信が持 てない こと	子ども との時 間を十分 にとれ ない こと	仕事や 自分の やりたい ことが 十分で きない こと	他の保 護者 とのつ きあ いに 関する こと	子ども や子 育て のこ とで 相 談・ 話し 相 手 が い な い こ と	その他	特 に な い
	全体	2016	33.4%	17.0%	27.9%	26.6%	17.4%	3.2%	2.3%	5.8%
年齢	0歳	472	28.8%	15.5%	14.0%	22.0%	17.2%	3.0%	2.5%	5.9%
	1歳	263	32.3%	15.6%	27.4%	31.9%	16.0%	4.6%	1.9%	5.7%
	2歳	329	35.3%	17.3%	28.3%	27.7%	16.1%	3.0%	2.7%	7.9%
	3歳	345	37.1%	20.9%	35.1%	30.4%	18.3%	2.9%	1.4%	5.2%
	4歳	321	36.8%	16.2%	34.0%	23.4%	17.8%	2.5%	1.2%	5.3%
	5歳	252	32.5%	17.1%	36.5%	25.8%	19.4%	4.0%	4.0%	4.4%

<就労状況・子どもの年齢による比較分析>

【問 14 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先はどこ（誰）ですか】を就労状況別でみると、母親が休業中の場合、休業中ではない母親に比べ、「かかりつけ医師や医療機関」「子育て支援センター」の利用が多くなっています。

子どもの年齢別でみると、子どもの年齢が上がるについて、「配偶者」「親など、配偶者以外の親戚」「かかりつけ医師や医療機関」「子育て支援センター」の割合が減少し、「幼稚園や保育所などの先生」が増加していく傾向にあります。

	(単位: %)	合計	配偶者	親など、配偶者以外の親戚	友人や知人、職場の人	幼稚園や保育所などの先生	かかりつけ医師や医療機関	子育て支援センター	児童発達支援センター	民間の子育て相談サービス
	全体	2016	83.8%	62.5%	64.3%	38.6%	21.4%	14.5%	5.4%	2.2%
母親の就労の有無と休業の状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	565	83.5%	63.9%	61.6%	43.0%	18.1%	6.7%	5.7%	1.2%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	376	88.6%	73.1%	71.8%	32.4%	31.6%	21.5%	5.3%	2.9%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	498	81.1%	55.2%	62.0%	47.2%	17.1%	6.6%	4.0%	1.4%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	108	96.3%	64.8%	69.4%	51.9%	20.4%	20.4%	4.6%	1.9%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	421	81.9%	60.3%	63.9%	26.6%	23.0%	26.1%	6.7%	3.8%
	これまで就労していない	32	71.9%	59.4%	53.1%	21.9%	12.5%	21.9%	6.3%	3.1%
年齢	0歳	472	86.0%	69.9%	67.4%	23.7%	28.8%	25.0%	6.1%	3.2%
	1歳	263	88.2%	63.1%	61.6%	36.9%	25.5%	19.4%	1.9%	2.3%
	2歳	329	82.4%	62.6%	61.7%	42.6%	21.9%	11.9%	6.1%	2.1%
	3歳	345	81.7%	61.2%	67.2%	44.6%	16.2%	10.7%	3.5%	1.4%
	4歳	321	84.4%	55.1%	62.6%	48.9%	16.5%	7.2%	5.9%	0.9%
	5歳	252	79.4%	59.1%	63.5%	41.7%	15.9%	7.5%	9.1%	2.8%

	(単位: %)	合計	区役所や保健福祉センターの保健師・相談員	その他	相談したい相手・場所はない	無回答
	全体	2016	8.5%	1.3%	1.0%	0.3%
母親の就労の有無と休業の状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	565	4.1%	1.1%	0.7%	0.5%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	376	11.7%	1.3%	0.3%	0.0%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	498	6.0%	0.6%	2.2%	0.0%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	108	17.6%	0.9%	0.0%	0.0%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	421	12.1%	2.4%	1.0%	0.0%
	これまで就労していない	32	9.4%	0.0%	3.1%	0.0%
年齢	0歳	472	15.0%	2.3%	0.2%	0.2%
	1歳	263	11.4%	1.5%	1.1%	0.0%
	2歳	329	8.2%	0.0%	0.9%	0.0%
	3歳	345	4.6%	1.7%	1.4%	0.6%
	4歳	321	4.7%	0.3%	0.9%	0.3%
	5歳	252	4.8%	1.2%	2.4%	0.4%

<子どもの年齢による比較分析>

【問 36 子育て情報として欲しいもの】を子どもの年齢別で見ると、0歳が「子育てに関する公的制度（保育園、手当など）の内容」、1歳以上の回答が「子どもや親が行ける遊び場情報」に回答が集中しています。

	(単位: %)	合計	子育てに関する公的 制度 (保育園、手当など) の内容	民間企業や財団が行っている子育て支援の内容	子育て中の保護者等による身近な口コミ情報	子どものことについて相談できる場所の情報	子どもや親が行ける遊び場情報	親で楽しめるイベント情報	子連れでも気兼ねなく入れる飲食店などのお店情報	外出時に利用できるおむつ替えスペースなどの設備の情報
年齢	全体	2016	57.0%	13.5%	20.7%	11.3%	62.5%	56.8%	48.8%	15.7%
	0歳	472	63.3%	16.3%	19.1%	13.1%	51.5%	51.9%	53.4%	26.5%
	1歳	263	58.9%	12.5%	20.9%	10.3%	63.5%	52.9%	56.7%	19.4%
	2歳	329	54.1%	10.3%	21.3%	10.3%	67.2%	57.4%	53.5%	16.4%
	3歳	345	54.5%	12.8%	18.8%	10.1%	65.8%	57.7%	40.6%	8.7%
	4歳	321	54.8%	14.0%	23.1%	9.7%	65.1%	62.0%	43.0%	10.9%
	5歳	252	52.8%	13.1%	21.8%	12.3%	65.9%	59.5%	42.5%	6.0%

	(単位: %)	合計	親向けの子育てセミナーや講演会などの情報	地域の子育てサークルなどの情報	市全体の情報に加えて、住んでいる地域の詳しい子育て情報	その他	特になし
年齢	全体	2016	9.1%	4.7%	16.9%	0.8%	0.9%
	0歳	472	9.3%	5.5%	18.0%	0.2%	0.4%
	1歳	263	10.3%	5.3%	19.0%	1.9%	0.8%
	2歳	329	6.4%	5.8%	14.9%	0.0%	0.9%
	3歳	345	10.1%	4.6%	13.9%	0.9%	1.7%
	4歳	321	9.0%	3.4%	17.4%	1.9%	1.2%
	5歳	252	9.1%	2.0%	18.3%	0.4%	0.4%

5 幼保無償化の認知度と意向（「就学前児童調査」）

<本市の動向>

5月国会において改正子ども・子育て支援法が可決成立したことを受け、10月から幼保無償化が実施されます。幼保無償化では法改正により、3～5歳児は原則全世帯、0～2歳児は住民税非課税の世帯を対象に認可保育所や認定こども園、幼稚園の利用料を無償化し、認可外の保育施設も上限を設けて利用料を補助します。本市では、ニーズ調査により、意向を調査し、制度の認知度別に見た結果、幼稚園や保育所を現在利用している人の移動が小さいですが、2割の新規利用者、特に認可保育所への移動が見込まれます。

<内容の認知度による比較分析>

【問19「幼児教育・保育の無償化」について、内容を知っていましたか】では、内容を知っているのは約3割となっています。したがって、制度の周知が早急に求められるとともに、ニーズ調査においては認知度合いの程度を捉えていく必要があります。

No.	問19	n=2016
1	内容を知っていた	31.2%
2	内容については知らないが、聞いたことはある	57.7%
3	まったくわからない・初めて聞いた	7.6%
	無回答	3.5%
	全体	100.0%

幼稚園や保育所等を利用していない方のみにお尋ねしている【問20 無償化が実施された場合、現在利用している幼稚園・保育所等の無償化後の利用について、どちらを選択しますか】を内容の認知度別でみると、認知による大きな差異はなく、「継続して利用したい」が約9割となっています（参考問17）。このことから、現在利用している施設からの子どもの移動数は小さいことが見込まれます。

		合計	継続して利用したい	異なる幼稚園・保育所等を利用したい	無回答
	全体	1330	95.0%	3.6%	1.4%
問19 幼保無償化について	内容を知っていた	420	95.0%	4.3%	0.7%
	内容については知らないが、聞いたことはある	766	95.2%	3.4%	1.4%
	まったくわからない・初めて聞いた	98	96.9%	3.1%	0.0%
	無回答	46	89.1%	2.2%	8.7%

幼稚園や保育所等を利用していない方のみにお尋ねしている【問21 無償化が実施された場合、新たに幼稚園・保育所等の利用を希望しますか】を内容の認知度別でみると、こちらも大きな差異はありませんが、「新たに利用したい」が約2割となっており、新規利用者の流入が見込まれます。

		合計	新たに 利用し たい	希望し ない	無回答
	全体	2016	25.6%	2.6%	71.7%
問19 幼保無 償化に ついて	内容を知っていた	629	25.3%	2.4%	72.3%
	内容については知らないが、聞いたことはある	1164	26.0%	2.9%	71.0%
	まったくわからない・初めて聞いた	153	28.8%	1.3%	69.9%
	無回答	70	15.7%	2.9%	81.4%

幼稚園や保育所等を利用している・今後したい方のみにお尋ねしている【問22 無償化が実施された場合、利用を希望する幼稚園・保育所等について、施設種別をお答えください】を内容の認知度別でみると、「認可保育所」に回答が集中しており、認可保育所の定員拡充や施設整備などによる待機児童対策が新たに必要になる可能性があります。

		合計	幼稚園	認可保 育所	認定こ ども園	小規模 保育施 設	家庭的 保育事 業	事業所 内保育 事業	認可外 保施設	家庭で の保育
	全体	2016	8.7%	46.0%	20.6%	0.4%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%
問19 幼保無 償化に ついて	内容を知っていた	629	8.7%	48.2%	21.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
	内容については知らないが、聞いたことはある	1164	8.7%	45.6%	20.9%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%
	まったくわからない・初めて聞いた	153	11.1%	42.5%	17.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%
	無回答	70	2.9%	41.4%	14.3%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%

		合計	障がい児 通所支援 (児童発 達支援)	無回答
	全体	2016	0.1%	23.8%
問19 幼保無 償化に ついて	内容を知っていた	629	0.0%	21.0%
	内容については知らないが、聞いたことはある	1164	0.2%	23.9%
	まったくわからない・初めて聞いた	153	0.0%	26.8%
	無回答	70	0.0%	40.0%

<在宅育児手当」の制度について>

【問23 子どもを保育所に預けずに家庭で保育する世帯に、給付金や現物を支給する「在宅育児手当」の制度があった場合、どのような選択をしますか】では、「子どもが一定の年齢になるまで家庭で保育を行い、その後は幼稚園・保育所等に預ける」が約5割となっており、子どもが一定の年齢になるまで家庭での保育を行うと思う方のみにお尋ねしている【「在宅育児手当」の制度があった場合、お子さんが何歳になるまで、手当を受けながら家庭での保育を続けたいですか】では、「3歳になるまで家庭で保育を続けたい」が約6割となっており、**制度の存在により、家庭保育が可能である意向**が示されています。

No.	問23	n=2016
1	子どもが就学するまで家庭で保育を行う	2.5%
2	子どもが一定の年齢になるまで家庭で保育を行い、その後は幼稚園・保育所等に預ける	54.6%
3	幼稚園・保育所等に預ける	39.8%
	無回答	3.1%
	全体	100.0%

No.	問23-A	n=1101
1	1歳になるまで家庭で保育を続けたい	9.6%
2	2歳になるまで家庭で保育を続けたい	18.9%
3	3歳になるまで家庭で保育を続けたい	63.9%
4	わからない	5.5%
	無回答	2.1%
	全体	100.0%

6 放課後の居場所の状況（「小学生調査」）

<本市の動向>

本市では、放課後児童クラブを利用している割合は、休業中を含めフルタイムで就労している家庭の子どもが約4割と高く、休業中を含めパート・アルバイト等で就労している家庭の子どもは約3割となっています。それに対して、放課後子ども教室を利用している割合は、フルタイムで就労している家庭の子どもが1割強と低く、パート・アルバイト等で就労している、休業中や就労していない家庭の子どもが約2割程度と若干高くなっています。

<就労状況・子どもの年齢による比較分析 放課後子ども教室・放課後児童クラブ>

【問17 放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。】のうち、放課後子ども教室・放課後児童クラブの利用割合を就労状況別でみると、**就労状況にかかわらず一定の利用割合**があります。また、子どもの年齢別でも同様に一定の利用割合があります。

放課後子ども教室・放課後児童クラブでは利用要件が異なりますが、**利用率にほぼ大きな差がない**ことから、**要件の弾力化等、一体的な連携に向け、条件整備を行っていく余地**があります。

		合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	塾や習い事	児童館	放課後子ども教室（ふれあいスクール）	放課後児童クラブ（ひまわりクラブなどの学童保育）	ファミリー・サポート・センター	障がい児通所支援（放課後等デイサービス）
	全体	1740	78.7%	27.8%	50.2%	8.6%	12.4%	34.8%	0.5%	1.1%
就労の有無と休業の状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	715	70.5%	29.8%	44.9%	7.6%	9.5%	45.9%	0.6%	0.8%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	17	70.6%	29.4%	64.7%	11.8%	17.6%	35.3%	0.0%	0.0%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	739	82.9%	26.5%	51.4%	8.7%	13.3%	31.5%	0.7%	1.2%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	26	88.5%	30.8%	50.0%	11.5%	15.4%	34.6%	0.0%	3.8%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	197	90.4%	24.9%	60.9%	11.2%	17.8%	9.6%	0.0%	1.5%
	これまで就労していない	27	96.3%	37.0%	74.1%	7.4%	18.5%	3.7%	0.0%	0.0%
年齢	6歳	71	76.1%	29.6%	57.7%	4.2%	14.1%	33.8%	1.4%	1.4%
	7歳	311	78.5%	27.3%	49.8%	7.4%	11.6%	31.5%	0.0%	1.0%
	8歳	264	79.2%	26.1%	49.2%	9.1%	10.2%	38.6%	1.1%	0.8%
	9歳	312	79.8%	29.8%	47.1%	9.6%	14.1%	33.0%	1.0%	1.0%
	10歳	264	81.1%	22.7%	47.0%	6.4%	11.0%	36.4%	0.4%	0.4%
	11歳	289	77.2%	29.8%	50.9%	12.1%	13.8%	32.5%	0.0%	1.4%
	12歳	173	77.5%	28.9%	57.2%	6.4%	12.1%	36.4%	0.6%	2.9%

7 新潟市の子育て支援の状況（「就学前調査」）

<本市の動向>

新潟市は子育てしやすいまちだと思う人は約7割となっており、各地区でも大きな差異は見られません。子育てや子育て支援などについては、こちらも各地区での大きな差異は見られませんが、十分（4.5）よりも不十分（1.2）と思う割合が大きくなっています。また、子育て支援における地域とのつながりについては約9割が「感じる」と回答しており、地域の連携や、地域とのつながりへの意識が高い状況にあります。なお、これらの傾向は小学生調査においても同傾向となっています。

<年齢・居住地区別による比較分析>

【問39 新潟市は子育てしやすいまちだと思いますか】を年齢別でみると、「子育てしやすいまちだと思う」が0歳から年齢が上がるにつれ、減少し、「どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う」にシフトしています。地区別では「子育てしやすい」と回答した割合は、すべての地区で約7割となりますが、「子育てしやすいまちだと思う」だけで見ると、秋葉区・南区・西区で1割未満となっています。

		合計	子育てしやすいまちだと思う	どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う	どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う	子育てしにくいまちだと思う	無回答
年齢	全体	2016	9.7%	62.2%	19.5%	4.5%	4.2%
	0歳	472	11.0%	61.2%	18.2%	4.9%	4.7%
	1歳	263	10.3%	63.9%	17.9%	4.2%	3.8%
	2歳	329	10.0%	59.3%	23.1%	5.5%	2.1%
	3歳	345	9.6%	65.5%	17.1%	4.1%	3.8%
	4歳	321	7.8%	62.0%	21.8%	3.7%	4.7%
お住まいの地区	5歳	252	9.5%	61.9%	18.7%	4.4%	5.6%
	北区	246	11.0%	62.6%	20.3%	2.4%	3.7%
	東区	261	10.0%	63.6%	17.2%	3.8%	5.4%
	中央区	267	12.4%	60.7%	19.9%	4.9%	2.2%
	江南区	235	11.9%	59.6%	21.3%	4.3%	3.0%
	秋葉区	252	8.7%	62.3%	19.4%	5.6%	4.0%
	南区	222	8.1%	60.4%	21.2%	5.9%	4.5%
	西区	291	5.5%	67.7%	18.9%	3.8%	4.1%
西蒲区	235	10.2%	60.0%	17.9%	5.5%	6.4%	

<年齢・居住地区別による比較分析>

【問43 子育てや子育て支援などについて、どのように感じていますか。あなたの気持ちに近い番号をお答えください】を年齢別で見ると、「D. 住んでいる地域の子育ての支援について」で十分（1,2）との回答が北区・江南区・秋葉区・西区・西蒲区で3割を超えています。また、「E. 住んでいる地域の子育て環境について」では同様に秋葉区・西区で3割を超えています。

年齢別では、ともに年齢が上がるにつれて十分と感じる割合が減少傾向にあります。

地区別では、十分不十分の程度の差は見られますが、回答はほぼ均等となっており、子育て環境の均質化が図られていると捉えることができます。一方で市内全域での均質化を維持するためのマンパワーの確保や維持、各地区での施策の有効性などを検証し、地域差が出やすく課題に対する資本投下が限定的になりやすい中小規模の自治体と異なり、市全域へのフォローが必要となります。

特に本計画では提供区域の設定によって保育事業の均質化を企図しているため、このような調査結果が引き続くよう、区域の設定は適切なものである必要があります。

	D. 住んでいる地域の子育ての支援について	合計	1 不十分	2	3	4	5 十分	無回答
年齢	全体	2016	9.9%	21.4%	46.1%	18.3%	3.4%	0.9%
	0歳	472	8.7%	19.3%	44.5%	21.6%	4.9%	1.1%
	1歳	263	11.8%	20.2%	44.5%	19.4%	3.4%	0.8%
	2歳	329	10.6%	24.6%	43.2%	17.6%	2.7%	1.2%
	3歳	345	8.4%	19.1%	50.1%	19.1%	2.3%	0.9%
	4歳	321	10.0%	25.5%	45.8%	15.9%	2.5%	0.3%
お住まいの地区	5歳	252	9.9%	21.0%	51.6%	13.1%	4.0%	0.4%
	北区	246	11.0%	21.5%	47.6%	16.3%	3.3%	0.4%
	東区	261	10.0%	17.6%	45.6%	21.8%	5.0%	0.0%
	中央区	267	7.9%	19.1%	45.7%	24.3%	2.2%	0.7%
	江南区	235	8.9%	23.4%	44.7%	17.4%	4.3%	1.3%
	秋葉区	252	11.9%	23.0%	48.8%	12.3%	2.0%	2.0%
	南区	222	8.6%	19.4%	42.8%	23.0%	5.4%	0.9%
	西区	291	11.0%	21.3%	50.5%	15.1%	1.7%	0.3%
西蒲区	235	9.8%	26.8%	42.6%	15.7%	3.8%	1.3%	

	E. 住んでいる地域の子育て環境について	合計	1 不十分	2	3	4	5 十分	無回答
年齢	全体	2016	7.4%	21.0%	46.0%	20.6%	4.0%	0.8%
	0歳	472	7.4%	18.4%	46.6%	20.8%	6.1%	0.6%
	1歳	263	6.8%	18.6%	50.2%	19.4%	4.2%	0.8%
	2歳	329	7.0%	24.6%	43.2%	21.0%	2.7%	1.5%
	3歳	345	5.8%	18.6%	49.6%	22.0%	3.2%	0.9%
	4歳	321	8.7%	25.9%	42.7%	19.3%	3.1%	0.3%
お住まいの地区	5歳	252	8.7%	20.6%	45.6%	21.0%	3.6%	0.4%
	北区	246	7.7%	22.0%	45.1%	21.1%	3.7%	0.4%
	東区	261	9.6%	19.9%	47.9%	19.2%	3.4%	0.0%
	中央区	267	6.4%	20.6%	45.7%	23.6%	3.0%	0.7%
	江南区	235	6.8%	22.6%	45.5%	18.3%	5.1%	1.7%
	秋葉区	252	8.3%	23.4%	47.2%	15.1%	4.4%	1.6%
	南区	222	4.5%	18.5%	47.3%	23.9%	5.0%	0.9%
	西区	291	9.3%	24.1%	46.7%	17.5%	2.1%	0.3%
西蒲区	235	6.0%	16.6%	43.0%	27.2%	6.4%	0.9%	

<年齢・居住地区・就労状況別による比較分析>

【問41 あなたの子育てや、子どもの成長・生活の中で、近所付き合いの必要性を感じますか】

を年齢・居住地区・就労状況別でみると、回答の傾向はほぼ同様となっており、**地域とのつながり**について約9割が**感じる**と回答しています。今後の地域福祉を考えていく上で、市民、特に**若い世代が地域とのつながりを重要視**できているという状況は**好環境**と言えます。

		合計	感じる	ある程度感じる	あまり感じない	感じない	無回答
年齢	全体	2016	33.9%	53.3%	9.9%	1.9%	1.0%
	0歳	472	30.1%	56.4%	10.2%	2.1%	1.3%
	1歳	263	36.1%	51.0%	9.1%	2.7%	1.1%
	2歳	329	33.1%	50.8%	12.5%	2.7%	0.9%
	3歳	345	35.9%	51.9%	9.6%	1.4%	1.2%
	4歳	321	35.8%	52.0%	10.3%	1.2%	0.6%
	5歳	252	35.3%	56.0%	6.7%	1.6%	0.4%
お住まいの地区	北区	246	38.2%	51.6%	7.7%	2.0%	0.4%
	東区	261	31.4%	55.2%	11.9%	1.5%	0.0%
	中央区	267	27.7%	55.1%	13.1%	2.6%	1.5%
	江南区	235	29.4%	54.5%	11.5%	3.4%	1.3%
	秋葉区	252	37.3%	54.4%	6.3%	1.2%	0.8%
	南区	222	36.0%	50.5%	10.8%	1.4%	1.4%
	西区	291	36.8%	49.5%	11.7%	1.4%	0.7%
	西蒲区	235	33.6%	56.6%	6.0%	2.1%	1.7%
就労の有無と休業の状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	565	36.1%	51.7%	9.6%	1.4%	1.2%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	376	34.0%	55.3%	8.0%	2.1%	0.5%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	498	34.5%	52.6%	10.4%	1.8%	0.6%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	108	38.9%	48.1%	7.4%	3.7%	1.9%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	421	30.4%	54.6%	12.6%	1.7%	0.7%
	これまで就労していない	32	21.9%	62.5%	6.3%	6.3%	3.1%

<年齢・居住地区・就労状況別による比較分析>

【問42 身近な地域で、地域の方々が主体となって行う子育て支援の活動として、どんなものがあつたらよいと思いますか】を年齢・居住地区・就労状況別でみると、回答の傾向はほぼ同様となっており、「子どもたちの見守り・声掛け・通学路パトロールなどの活動」が高くなっています。

年齢が上がるにつれて選択される割合が高くなっていくものは「子どもたちが集まって、遊びや交流ができる居場所づくり」「子どもたちに勉強や工作などを教える活動」となっています。

		合計	子どもたちの見守り・声掛け・通学路パトロールなどの活動	子育て中の親同士が交流したり、気軽に相談ができる居場所づくり	子どもたちが集まって、遊びや交流ができる居場所づくり	親子で集まって、親子でいっしょに遊びや交流ができる居場所づくり	赤ちゃんから高齢者まで、様々な世代の人が交流できる居場所づくり	子どもたちに勉強や工作などを教える活動	子どもたちやその家族に食事を提供する活動(子ども食堂)	一時的な子どもの預かりや送迎を行う活動
年齢	全体	2016	73.1%	23.7%	52.0%	29.0%	18.5%	25.4%	9.9%	26.6%
	0歳	472	71.8%	31.6%	48.9%	35.0%	18.0%	23.9%	10.0%	25.0%
	1歳	263	71.9%	26.2%	49.0%	30.8%	17.9%	21.7%	6.8%	27.0%
	2歳	329	72.0%	23.7%	53.5%	28.3%	20.1%	22.8%	9.7%	24.6%
	3歳	345	71.9%	20.9%	49.0%	32.2%	20.0%	25.2%	11.0%	26.7%
	4歳	321	73.8%	19.0%	58.3%	23.1%	16.5%	30.5%	9.3%	28.3%
お住まいの地区	5歳	252	77.4%	16.3%	56.0%	19.4%	17.5%	29.4%	11.9%	27.8%
	北区	246	74.0%	22.8%	56.1%	30.9%	15.9%	30.5%	11.0%	26.4%
	東区	261	68.2%	27.6%	51.3%	28.0%	20.7%	23.8%	11.5%	23.8%
	中央区	267	72.3%	24.0%	46.4%	27.0%	20.6%	30.0%	6.0%	29.2%
	江南区	235	71.5%	21.3%	56.6%	27.2%	15.7%	23.8%	8.1%	26.4%
	秋葉区	252	75.8%	24.6%	57.1%	30.6%	16.3%	25.8%	7.5%	23.4%
	南区	222	75.2%	24.3%	47.7%	31.5%	18.5%	23.4%	15.3%	23.0%
	西区	291	76.6%	21.3%	51.5%	27.5%	20.3%	21.0%	11.7%	33.3%
就労の有無と休業の状況	西蒲区	235	71.1%	23.8%	49.8%	30.6%	19.1%	26.0%	8.5%	24.7%
	フルタイムで就労しており、休業中ではない	565	75.4%	18.1%	54.7%	26.0%	19.3%	27.6%	11.2%	28.8%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	376	75.3%	29.5%	50.5%	36.2%	20.7%	22.9%	11.2%	29.0%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	498	74.5%	22.1%	54.0%	24.7%	14.9%	26.5%	9.2%	23.1%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	108	68.5%	27.8%	47.2%	32.4%	21.3%	24.1%	5.6%	20.4%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	421	69.1%	26.4%	49.9%	32.5%	19.5%	24.7%	9.3%	26.1%
これまで就労していない	32	62.5%	34.4%	34.4%	12.5%	12.5%	15.6%	3.1%	34.4%	

		合計	子どもの面倒をみる手伝いや家事の手伝いをする活動	地域の方による、子どもや子育てに関する相談の受け付け	その他	無回答
	全体	2016	11.5%	3.4%	0.8%	1.2%
年齢	0歳	472	12.3%	4.0%	0.2%	1.9%
	1歳	263	13.3%	3.8%	1.5%	1.5%
	2歳	329	8.8%	3.0%	1.2%	1.5%
	3歳	345	10.7%	2.9%	0.3%	0.9%
	4歳	321	10.3%	2.8%	0.6%	0.9%
	5歳	252	11.9%	3.2%	1.6%	0.0%
お住まいの地区	北区	246	8.9%	3.7%	1.2%	1.2%
	東区	261	12.6%	2.3%	0.8%	1.9%
	中央区	267	13.5%	3.4%	1.1%	1.1%
	江南区	235	11.5%	4.3%	0.9%	1.3%
	秋葉区	252	12.7%	5.6%	0.8%	0.8%
	南区	222	8.1%	3.6%	0.5%	0.5%
	西区	291	13.4%	2.7%	1.0%	0.3%
	西蒲区	235	8.9%	1.3%	0.4%	2.6%
就労の有無と休業の状況	フルタイムで就労しており、休業中ではない	565	9.9%	3.2%	0.5%	1.1%
	フルタイムで就労しているが、休業中である	376	11.7%	3.5%	0.8%	0.0%
	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	498	11.2%	3.0%	0.6%	0.4%
	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	108	11.1%	2.8%	0.9%	2.8%
	以前は就労していたが、現在は就労していない	421	13.3%	3.6%	1.2%	2.1%
	これまで就労していない	32	15.6%	6.3%	3.1%	9.4%